



第14号

2015(平成27)年
3月31日発行

発行所
京都市下京区堀川通花屋町下ル
仏教壮年会連盟広報委員会

題字：理事長 田 仲 隆 行

「朋友」とは、同信のなかま。
2008(平成20)年4月の仏教壮
年会連盟発足にあたり、仏教
壮年会員が力を合わせ、ともに歩
みを進めていこうという願い
から名づけられました。

「法統継承に際しての消息」を頂いて

仏教壮年会連盟講師

谷間 徹 誠



私たちの宗門は、昨年の6月6日の25代・専如ご門主の「法統継承式」をうけ、また2015(平成27)年・新年度を迎えて文字通り、新たな歩みを踏み出しました。

ご門主の「法統継承に際しての消息」を頂いて私は、親鸞聖人を宗祖と仰ぎ、そのみ教えに導かれて浄土真宗の一門に集う私たちの宗主として、法統を受け継いでくださるご決意を有り難く、そして頼もしくお聞かせ頂きました。

宗門がたどった、過去の時々の

社会的対応の在り方を点検されつつ、現代社会と此処を生きる私たちの踏むべき道をお知らせくださいました。それは何時の世いかなる状況の中にあっても、決して変わるこの無い阿弥陀如来様の本願真実の「お救いのハタラク」であるお念仏のみ教えを、一人でも多くの人々と共に聞き、聴こえてくださる確かな安心と喜びを宗門の英知を結集して、広く世の内外にお伝えする営みに外なりません。それこそ自他共に心豊かに生きる

ことのできる社会・御同朋の社会をめざす運動(実践運動)の根本なのだと思わせて頂きました。

ご門主は、このご消息の結びに『自信教人信』のお言葉を頂き、現代の苦悩とともに背負い、御同朋の社会をめざして皆様と歩んでまいりたいと思います」とお示しになりました。

『自信教人信』とは、宗祖親鸞聖人が、そのお心の深くに大切に頂いておられた中国の善導大師のご教示です。その意味は「みづから信じ、人を教へて信ぜしむること(恵信尼消息)」とお聞かせ頂きます。ご門主は法統の継承に当たって、ご自身に引き受けられて、現今の世相に翻弄されて私たちが忘れかけている一宗の肝要は、何よりも先ず私自身が、阿弥陀如来のお育てと、お救いのおハタラクが、すでに南無阿弥陀仏の名号と仕上がりてくださってあるおいわれを聞く座にすわる、素直な聞法者でありたいとの姿勢をお示しくださったものとうかがいました。

私たちの宗門は、一人ひとりの仏法聴聞が深まるとき『浄土真宗の教章』に明示されている通り「この宗門は、親鸞聖人の教えを仰ぎ、念仏を申す人々の集う同朋教団であり、人々に阿弥陀如来の智慧と慈悲を伝える教団である。それによって、自他ともに心豊かに生きることのできる社会の実現に貢献する」という誇りと使命を内感せしめられます。

私は阿弥陀如来様の智慧の明るさに見抜かれた、この私の自我中心性の深さをお聞かせ頂いてこれを省み、未完なれどもこれを慎みたいと思います。そして、阿弥陀如来様のご本願は、このような私の為のお救いのお慈悲のハタラクであつたことをお聞かせ頂く嬉しさ、おのずから『自信教人信』の道をめざして生きる念仏者として、現代社会が抱える深刻な課題を共有し、その課題の克服に向かつてより多くの朋友と手を取り合って努め続ける事が、私の人生の生き甲斐だと頂戴しております。

第21回 全国仏教壮年福岡大会

仏教壮年会連盟 理事(東北教区)
広報委員会 委員長

佐藤 治雅



第21回全国仏教壮年福岡大会が2014(平成26)年10月25日(土)、福岡国際会議場(福岡市博多区)で開催されました。専らご門主ご臨席のもと、全国各地から2500人を超える仏教壮年が、「朋友の輪を拡げ ともにいのちがやく世界を」のテーマで一堂に会しました。



ご門主様お言葉

連盟旗入場に始まり、福岡教区仏壮会員が正信偈和讃六首引の調声・巡讃をつとめ、参加者全員で唱和しました。ご門主のお言葉に続いての取組事例発表では、杉本久美さん(北海道)山根明弘さん(山口)斉藤隆伸さん(福岡)がそれぞれの取組事例を発表しました。

記念行事として、筑紫女学園高等学校宗教部による雅楽「五常急」、雅楽会「和雅音」の舞楽「春庭花」が披露され、記念法話では佐々木高彰住職(熊本・常法寺)が節談説教を行われ、会場は笑いと涙で最高潮の盛り上がりを見せました。

次回開催は、平成29年度に東北教区・宮城県仙台市の地で予定しています。被災地の現状と問題点に触れる機会ととらえ全国から仏壮の仲間が集っていただきたいと思います。その時は、仏壮連盟会員式章を着用し会場を緑一色で埋めましょう。



勤行(正信偈・和讃六首引)



記念行事(筑紫女学園高等学校宗教部「五常急」)



記念行事(雅楽会「和雅音」による舞楽「春庭花」)



記念法話(本願寺布教使・佐々木高彰さん)



開会式

2014(平成26)年度 仏教壮年会連盟 「中央研修会」開催報告

仏教壮年会連盟 理事(山口教区)
研修委員会 副委員長

前田 浩治



2015(平成27)年2月21日(土)22日(日)、本願寺・聞法会館において仏教壮年会連盟「中央研修会」が開催されました。全国の23教区より41名の仏教壮年会員が参加し講師・理事・研修委員等を含め総勢61名が熱のこもった有意義な2日間を共に学び、大いに語り合いました。

1日目は開会式の後、福田清道研修委員長より「研修のねらい」についての話があり講義に入りました。講義①では漢見覚恵連盟講師より「浄土真宗の教義」について、続いて講義②では義本弘導連盟講師より「今、仏教壮年会に求められるもの」お寺との縁のつくり方」の講義をいただきました。お話の最後に人生の中で念仏するのか、念仏の中で人生をすごすのかという問題提起を受け、その後、5班に分かれ「話し合い法座」が開かれました。私が座長として関わりました1班では、大変活発な意見が

見が発せられ、常日頃から念仏に親しまれている姿が目に見え、嬉しかったです。



懇親会でのビンゴの様子

2日目は、はじめに大原瑞雲連盟講師より念仏を次世代への願いのもと取り組んでいる「子ども・若者ご縁づくり」のお話をいただきました。その後のパネルディスカッション・全体会では、各班代表のパネリストから、単位会で行っている子ども・若者ご縁づくりの活動等について、意見交換が行われました。

も・若者ご縁づくりの活動等について熱心な意見が出されました。



パネリストの方がた

日頃から活発に活動される様子がうかがえ、最後に義本弘導連盟講師より「まとめ」をしていただき、2日間の研修を無事終えることができました。参加者の皆様、本研修を通じて学ばれたことを機縁として、



全体会

各教区・単位会で活躍されることを念じます。

この研修会は、教区幹部を含む仏教壮年会活動の推進者の養成を目的としています。今までに、仏教壮年会活動のリーダーとなって活躍されている、多くの方々に参加していただいています。来年度の「中央研修会」は2016(平成28)年2月20日(土)21日(日)に開催することが予定されています。各教区連盟におかれましては、次のリーダーとなっていただけの方を見つけたら、ともに、本研修会にご参加いただければ、機会あるごとに声をかけていただく等、準備をお願いいたします。

被災地はいま〜東日本大震災を忘れない〜

「心の支援を続けよう」

仏教壮年会連盟 評議員(沖縄特区)
広報委員会 委員

屋我真也



2015(平成27)年2月2日
〜4日、今回で4回目の東北地方でのボランティアに参加させていただきました。

そこで感じたことは「目に見える支援よりも、目に見えない支援への移行」の大切さでした。

被災地の景色は初めて行つた3年前とは大きく変わりました。当初は瓦礫の撤去と更地になった側溝での搜索活動が主でしたが、今年からは行政の動きも本格的になったと感じました。宮城県名取市閑上地区ゆりあげでは、ダンプや重機の往来が凄かったです。いよいよ目に見える復興の第一歩だと感慨を覚えました。

他方で地震、津波、原発事故等でご家族や友人知人を亡くされた方たちの悲しみを思う時、正直いつも言葉が見つかりません。そして不自由な仮設住

宅での生活も4年目になろうとしています。先の見えない不安の中に居る人たちと、少しでもいい、一時でもいいからお茶会や、その他の行事にこれから関わりたいと思いました。

本当に悲しみ寄り添えるのは、阿弥陀如来様しかおりません。私個人の想いや行動は何の力にもなっていないのです。それでもお聴聞をし続けて東北に想いを馳せ「少しでも何かお手伝いができるのなら行動したい」と思うようになりました。

全国の仏教の朋友へ。今回の東北ボランティアの激減ぶりに正直ビックリしました。目に見える支援は確かに少なくなりましたが、継続的な心の支援がこれからは最も大切になると思います。仏教のお仲間同士知恵を出し合って、被災地でご

不便なさっている方たちとの継続的な関わりを続けていきましよう。

最後になりますが、東北での最終日。お忙しい中にもかかわらず、東北教区仏教壮年会連盟・佐藤治雄理事長に案内していただき、福島県浪江町に視察に行きました。本当に美しい山並みと集落でした。そこに点在している汚染廃棄物を詰めたフレコンバック。あの残酷なコントラストを絶対に忘れません。現場に行つて、感じて、持ち帰って次に繋げること：私はこれからも東北に関わり続けます。



◆新規単位登録名簿

2014(平成26)年8月1日〜2015(平成27)年3月15日

教区	組	寺号	単位会名
東京	埼玉組	光善寺	光善寺仏教壮年会
新潟	与板組	常禅寺	常禅寺仏教壮年会 法友会
滋賀	彦根組	明性寺	明性寺仏教壮年会
滋賀	護法組	香積寺	香積寺仏教壮年会
滋賀	坂田組	正行寺	正行寺仏教壮年会
大阪	茨田組	乗得寺	乗得寺五日講
和歌山	和歌山東	玄通寺	玄通寺仏教壮年会
備後	芦田組	西円寺	西円寺仏教壮年会
安芸	志和組	西蓮寺	西蓮寺仏教壮年会
安芸	安芸北組	西福寺	西福寺仏教壮年会
安芸	広島北組	正念寺	正念寺仏教壮年会
山口	広陵西組	妙聲寺	妙聲寺仏教壮年会
山口	豊浦西組	光蓮寺	光蓮寺仏教壮年会
鹿兒島別院	吉田出張所	吉田出張所	吉田仏教壮年会
鹿兒島別院	東俣出張所	東俣出張所	東俣出張所仏教壮年会
鹿兒島	鹿兒島組	福田寺	福田寺壮年会
鹿兒島	鹿兒島組	永福寺	永福寺仏教壮年会
鹿兒島	鹿兒島組	蓮乗寺	蓮乗寺仏教壮年会
鹿兒島	川内組	西村寺	西村寺仏教壮年会
鹿兒島	川内組	養信寺	養信寺仏教壮年会
鹿兒島	南隅組	西宝寺	西宝寺仏教壮年会

【仏教壮年会連盟会員式章】

- 価格 3,086円(税込)
- 本願寺出版社にて販売
- 問い合わせは、本願寺出版社へ
(フリーダイヤル 0120-464-583)

